



## 国際アクチュアリー会 (IAA) 死亡率ワーキンググループ

ウェブサイト: [www.actuaries.org/mortality](http://www.actuaries.org/mortality)

### 国際的な死亡率・長寿に関するアップデート #13

これは、2019年5月のワシントンD.C.会議における死亡率ワーキンググループによりレビューされた死亡率・長寿の分野の研究をカバーする国際アクチュアリー会死亡率ワーキンググループ(MWG)からの国際的なアップデートです。

注: 資料またはプレゼンテーションにアクセスするには、下線付きのフレーズをクリックしてください。

#### 1. [Seminar on Public Policy, Social Security and Trends in Mortality](#) Washington D.C., USA:

死亡率ワーキンググループと人口問題ワーキンググループは、2019年5月、このセミナーを開催しました。

□上記のセミナータイトルをクリックしてから個々のプレゼンテーションのタイトルをクリックすることにより、プレゼンテーションにアクセスできます。セミナーレポートは[ここから](#)入手できます。

#### 2. [Projecting Mortality for the US Social Security Area](#)

Michael Morris と Mark Bye (米国社会保障管理局、ゲスト・スピーカー) が米国の人口データを代表する社会保障制度における死亡率の将来プロジェクションを発表しました。

#### 3. [Role of the Actuary at GAO](#)

Joe Silvestri (米国会計検査院、ゲスト・スピーカー) が米国会計検査院のアクチュアリーが取り組みアドバイスしているいくつかのプロジェクトを強調して発表しました。

#### 4. [Research in Mortality - US](#)

Dale Hall が米国の死亡率調査の最新情報を発表しました。

- Dale は、CDC による 2017 年人口推計では 3 年連続で死亡率が悪化していることを強調しました。
- 心疾患と癌が改善傾向を示す唯一の要因となっています。
- また、Dale は、企業年金制度に関する SOA による死亡率調査が、コメントを求めるために翌週に発表される予定であると述べました。

#### 5. [Research in Mortality - UK](#)

Brian Ridsdale が英国の最新情報を述べ、[英国における調査](#)を発表しました。

- 興味深いことに、2018/2019 の冬は、英国での過去 2 年間のよう厳しい冬の寒さによるインフルエンザ死亡を示さなかったため、近年より改善が見込まれています。
- 社会経済的階級の死亡率の違いを示す研究では、格差が拡大していることを確認しています。
- Brian Ridsdale は、Tim Noakes の *罹患率への影響*に関する The Actuary の記事に言及しました。

## 6. [Recent Developments in Longevity Trends](#)

Steven Baxter (ゲスト・スピーカー、Club Vita)が、様々な国のDB制度における長寿トレンドを発表しました。社会経済的階級別の長寿格差が拡大していることも示しています。年金において、ライフスタイルが豊かさや職業よりも大きな影響を与えるようだということが観察されました。

## 7. Country Reports

- Leza Wells が[南アフリカの報告書案](#)を発表しました。これは査読、参照された後、ウェブサイト利用可能となります。

## 8. [Smoking and Obesity topic that was presented at the seminar](#)

Sam Gutterman がセミナーで発表されたトピックの詳細を説明しました。米国は世界で最も肥満が多い国ではないことが注目されます。

## 9. MWG Projects

- 電子タバコ**- このプロジェクトは完成されました。この論文はジャーナルへの掲載のために投稿され、現在査読を受けています。Sam Gutterman は、ベルリンのMWG会議からの関心を受けて、水ギセルやその他の喫煙方法に関する簡単な情報をいくつか含めました。しかし、短くする必要があるため、最終的に公表される記事から削除される可能性があります。
- 高齢者の死亡率プロジェクト**-このプロジェクトは現在保留中です。
- 将来死亡率の長期的ドライバー**-この論文は起草中であり、今年の終わりに完成する予定です。Al Klein は、東京会議の前に11月にインドで開かれる医療会議でこのトピックについて話すことを歓迎されています。
- 世界中の引受査定**-実施調査に関する報告書の第2版が発表されており、アジアの5〜7か国を含む第3版があるかもしれません。
- 死因**-プロジェクトチームはプロジェクトを分割し、東京会議でいくつかの予備作業を共有したいと考えています。Marc Tardif は、ある国の栄養レベルを分析に含めることが可能かどうか質問しました。これは多くの死因や国の違いにおいて重要な要素であると思われるためです。プロジェクトチームはあらゆる意見や支援を歓迎しました。
- より良い死亡率モデル**-プロジェクトチームは、東京会議で目的、範囲および予備研究を発表したいと考えています。シドニー・カンファレンス(東京会議後の2019年11月)で、このトピックに関連した2つのプレゼンテーションがされるでしょう。
- 伝染病**-このトピックの論文の章名の概要が示されました。各章は現在プロジェクトメンバー間で割り当てられています。Sam Gutterman は、より多くの支援や査読を歓迎しました。Martin Stevenson は、一方では人々が世界中をより多く行き来しているため流行リスクが高まり、他方では医学研究が進歩により流行リスクが減少していると言及しました。Al Klein は、ソーシャルメディアはリスク軽減に大きな役割を果たすと述べましたが、誤報のリスクもあります。

## 10. Accomplishments outside of MWG

MWG会議の参加者が、死亡率に関連するトピックについて直近の関与や発表を共有することを求められました。以下が発表やウェビナーのリストです。

- Al Klein: ライフ・セクションのために“Shape of water, Genetics, E-cigarettes and Diabetes”のセミナー。Lars Pralle が司会を務め、スピーカーは(発表順に)、Al Klein, Sam Gutterman and Ian Duncan でした。インドの医師のために死亡率の長期的ドライバーを発表する予定です。死亡率改善の方法論に関して、英国、米国、カナダの研究を行う予定です。
- Rikard Bergström: スウェーデンにおける保険群団の死亡率研究
- Ayse Arik: MWG セミナーの発表
- Sam Gutterman: ウェビナー; 長生きシンポジウムにおける多罹患率に関する論文; アルコール関連の死亡率調査
- Lars Pralle: ジュネーブ・フォーラムへ参加、直近のウェビナー開催
- Adam Reese: 伝染病プロジェクトグループ

- Dale Hall: 教育的セッションでの死亡率の長期的ドライバーの紹介
- Mika Mäkinen: 死因および伝染病のプロジェクトグループ; フィンランドの死亡率調査
- Jari Niittuimperä: 気候変動に関連する死亡率・罹患率についての発表を含む死亡率セミナーの開催
- Hiroshi Yamazaki: 東京会議に向けた死亡率セミナーの企画
- Steven Baxter: 翌週のウェビナーを計画
- Martin Stevenson: 年金問題や DC 制度への取組 - より長寿の商品が必要
- Neil Tagoe: 規制当局が死亡率調査ガーナチャレンジにデータ収集を求めている
- Ermanno Pitacco: 異質性に関する論文が数日前に発刊されました
- Brian Ridsdale - 英国の最新情報

#### 12. [A Primer on the US Pension Insurance Program, ‘Til Death Do Us Part”](#)

Ted Goldman (元 MWG メンバー、ゲスト・スピーカー) が、ファンドが支払不能になったときに負債を引き継ぐ米国の年金保険プログラムについて発表しました。議会が価格を設定するため、年金保険プログラムのアクチュアリーは助言することしかできません。将来予測によると、これは資金不足のプログラムの模様です。

#### 13. [A US Perspective on Approaches and Challenges](#)

Steve Goss と Karen Glenn (社会保障管理局、ゲスト・スピーカー) が、死亡率改善を予測するアプローチを発表しました。現在、予測は 5 つの病因によって行われていますが、これをさらに多くの疾患に拡大したいと考えています (過去に 10 病因が検討されましたが、これを減らすための圧力がありました)。

#### 14. [Accelerated Underwriting](#)

Al Klein が、引受要件が免除されている、または、リスクが伝統的な引受査定ではなく代替データを用いて別々に分類される引受査定アプローチを使用する保険会社数を示す Milliman 調査を発表しました。これらのプログラムでは、無作為抽出と契約後の監査が重要と指摘されました。

#### 15. [Planning for Tokyo meeting and Seminar in Tokyo](#)

IAA 会議は 11 月 18 日 (月) から 22 日 (木) までです。MWG 会議の時間は後で確認されます。金曜日に、日本アクチュアリー会の年次大会が始まります。半日の MWG/PIWG セミナーが、2019 年 11 月 17 日 (日) に開催されるでしょう。時間、場所、料金の詳細は今後となります。

---

Tel: +1-613-236-0886 Fax: +1-613-236-1386

Email: [secretariat@actuaries.org](mailto:secretariat@actuaries.org)

1203-99 Metcalfe, Ottawa ON K1P

[www.actuaries.org](http://www.actuaries.org)